

－HBC、HBCを経てHBAに至る－

■昭和37年（1962）9月

まず、HBG（ホテル・バーメンズ・ギルド）として発足

東京都内9ホテルの飲料責任者が会合を持ち、情報の交換とお互いの親睦を深める目的で、ホテル飲料関係者の横のつながりによる組織の発足を決定し、名称を“HBG(ホテル・バーメンズ・ギルド)”としました。この時の9ホテルは、パレスホテル、ホテルオークラ、帝国ホテル、ホテルニュージャパン、銀座東急ホテル、丸の内ホテル、第一ホテル、ホテル国際観光、銀座日航ホテルで、都内ホテルのチーフ・バーテンダーに呼びかけ、本格的な組織化が始まりました。その後、何回かの会合を続けるうちに、ウイスキーやワイン工場見学会が提案され、知識向上に役立つため、京都や仙台の工場施設見学会を行うようになりました。

■昭和45年（1970）

そして、HBC（ホテル・バーメンズ・クラブ）へと発展

この頃、内外から若い子弟達の啓蒙、育成を求める声があがり、広くバーテンダーに呼びかけ、HBGを大きく発展させる事が必要になってきました。そこで、秩序ある組織運営の必要性から、会則を持ち、会員資格の厳正な組織への発展を志したのです。その結果、この呼びかけに対し、東京都内18社のホテルが呼応し、80名の組織へと発展したので、名称も“HBC(ホテル・バーメンズ・クラブ)”に改めました。HBCは、その基本理念として、業界人として常に人格の陶冶を図り、親睦を深め、知識及び技術の向上に励み、業界の発展に寄与する事を目的に活動を定めました。事業としては、カクテル・コンペティションを始め、研修、講座、施設見学、親睦会及び相互扶助などを盛り込みました。

■昭和47年（1972）7月

HBC発会総会と第1回カクテル・コンペティション（第1回HBCカクテル調合技術コンクール）

昭和47年7月、ホテルグランドパレスで行われたHBC発会総会にて、会則に則り事業の展開が発表されましたが、最大の事業として謳われたカクテル・コンペティションの開催についての了承を得ました。第1回カクテル・コンペティションは、「第1回HBCカクテル調合技術コンクール」という名称で、このHBC発会総会の直後に開催されることになったのです。この時の運営規則、審査方法が現在のHBA創作カクテルコンペティション運営規則の原型です。

■昭和48年（1973）2月

第2回HBCカクテルコンペティション（創作）

第1回HBCカクテル調合技術コンクールの成功で、カクテル・コンペティションの開催には弾みがつき、第2回カクテル・コンペティションは、その翌年2月にパレスホテルで行われることに決定しました。この時、持ち回りの優勝杯が作られることになり、これが現在では歴代優勝者の名前が刻まれ、別添の紅白リボンを結びつけた、歴史を物語る由緒ある優勝カップとなっています。また、この第2回大会から創作カクテル・コンペティションとなり、この形式は現在でも続けられています。

■昭和50年（1975）10月

支部の誕生－HBC北海道支部の結成

昭和47年（1972）に発会したHBCの活動は、カクテル・コンペティションを始め、ウイスキー・ディスティラリーやワイナリーなどの施設見学、ゼミナールの開催、情報交換と親睦を目的とした会合を行い、職能知識・技術の向上を図ると共に親睦の和を広げました。その中でHBCの全国組織化は、北海道と九州地区をどんな形でまとめるかが一つの課題でした。幸いにも、北海道では札幌東急ホテルが中心となってまとまる機運がありました。東京と同一歩調での活動は難しいものの、HBCの活動への参加の意欲は強く、北海道支部という形で発足させることに理事会で決定され、全国組織化へ、また一步の前進を見たのです。支部結成の運動は北海道地区ホテルの熱意もあり、急速に進展し、昭和50年（1975）10月7日に、札幌グランドホテル、札幌パークホテル、札幌プリンスホテル、札幌全日空ホテル、札幌国際ホテル、札幌東急ホテル、ホテルワシントン札幌の7ホテル、37名のHBC北海道支部が誕生しました。

■昭和51年（1976）5月

九州地区ホテルグループー北海道に続け

昭和50年（1975）7月の北海道支部結成のニュースは、地方都市ホテルの会員を大きく刺激しました。特に九州地区では、ホテルステーションプラザ、博多東急ホテル、西鉄グランドホテルが中心となり、HBC入会運動の灯がともりました。HBC理事会での検討の結果、現地懇談会が開かれることになり、昭和51年（1976）5月、九州地区ホテルグループの形で入会を図ることになりました。その結果、西鉄グランドホテル、ホテルステーションプラザ、博多東急ホテル、博多都ホテル、博多全日空ホテル、城山ホテル、福岡第一ホテル、長崎グランドホテル、小倉ホテルの9社の加盟が決定しました。この時点で、HBCの加盟ホテルは、69社、会員数は250名を数えることになり、HBCの全国組織化が一応完成したのです。

■昭和52年（1977）7月

全国組織、HBAの誕生

昭和51年（1976）5月の九州地区ホテルグループの参加により、全国組織としての形が一応出来上がったHBCでは、その翌年、昭和52年（1977）の総会を記念すべき博多の地で行う事にしました。昭和52年（1977）7月2日、この記念すべき総会は、事業、会計報告承認を経て、全国組織化の完成による名称変更へと進み、ここに「HBA（全国ホテルバーメンズ協会）」の誕生と相成りました。現在は、HBA（日本ホテルバーメンズ協会）という名称になってはいますが、HBAの愛称はここで誕生したのです。

■昭和53年（1978）2月

創作カクテルコンペティションー関西で初開催

HBA（全国ホテルバーメンズ協会）の最大事業（催事）は創作カクテルコンペティションであり、この事業（催事）を通じてHBAはそのprestigeと存在価値を高めてきました。第6回大会までを全て東京で開催してきたのですが、前年の昭和52年（1977）に全国組織化の完成により、名称もHBAと変更して、更なる発展を目指しての活動の一環として、この最大催事（事業）も全国組織の名にふさわしく、東京以外の地で行うこととしました。それが、第7回HBA創作カクテルコンペティション大阪大会です。

■昭和55年（1980）

創作カクテルコンペティションー優勝者も全国化

昭和53年（1978）第7回大会が初めて東京以外の地、関西（大阪）で開催された創作カクテル・コンペティションも、昭和54年（1979）の第8回大会までの優勝者は全て東京都内のホテルの選手に独占されていました。しかし、昭和55年（1980）の第9回大会では、札幌全日空ホテル、そして昭和56年（1981）の第10回大会は京都ロイヤルホテルの選手が優勝の栄誉に輝きました。全国組織化が昭和52年（1977）の九州地区で開催された総会でHBAへの名称変更と共に名乗りを上げ、昭和53年（1978）の創作カクテルコンペティション大阪大会で、実質的な第一歩を踏み出し、その優勝の栄誉が東京以外のホテル・バーテンダーによって勝ち取られることで、真の全国組織となり、ここに地方格差というものが無くなる時代の到来を示したのです。

■昭和62年（1987）11月

海外研修ーHBA Study Tour開催

昭和62年（1987）にHBAは創立10周年を迎えることになりました。全国組織化の完成から8年、地方格差が無くなり真の日本全国を統括する組織となったHBAにとっての次の課題は国際化への対応であり、この課題への取り組みとして、海外研修ツアーを行いました。HBAへのサプライヤーでもある賛助会員の方々の協力を得て、イギリス、フランスの2カ国への第1回海外研修、HBA Study Tourの実現に踏み切りました。記念すべき第1回海外研修の訪問先は、イギリスが、ジョニー・ウォーカー社、タンカレー&ゴードン社、フランスが、モエ・エ・シャンドン社、カミュ社、プシャール社、オスピス・ドゥ・ボーヌ、J.J.モルチェ社、シャトー・ラフィート、シャトー・ムートン・ロートシルト、シャトー・マルゴーなどです。この海外研修は、その後も継続され、HBAの国際化対応時代の幕開けとなったのです。

■昭和 62 年(1987)1 月

The Hotel Barmen Vol.1 発行

週月発行を目指し会員情報誌としてスタート

■昭和 63 年(1988)2 月

第一回級別認定試験開催

全国 7 会場(北海道、東北、東海、京都、阪神、九州、本部)においてジュニア、シニア、マスター、各クラス別認定試験を実施。受験者人数合計 318 名 合格者人数 236 名

■平成元年(1989)9 月 1 日

社団法人HBAの誕生

平成元年(1989)は、HBAの歴史の中で最も意義のある年に成りました。HBAが全国組織としての基盤を固め、活動を始めてから12年を経て、その活動意義が認められ、公益法人の認可を受けたのです。平成元年(1989)9月1日、HBAは、当時の運輸省認可運政第546号を以て、公益法人としての認可を受け、社団法人 日本ホテルバーメンズ協会(HBA)となりました。日本社会の公益に貢献するという社会的責任を担い、より広く一般社会に開かれた組織としての大きな活動の新たな幕開けがここに始まったのです。

■平成 12 年(2000)6 月 27 日

北越支部発足

通常総会において北越支部設立について審議、承認された。
北越支部は(石川県・福井県・富山県・新潟県)4 県によって構成される。

■平成 13 年(2001)6 月 21 日

西関東支部発足

通常総会において西関東支部設立について審議、承認された。
西関東支部は(神奈川県・静岡県・山梨県・長野県)4 県によって構成される。

■平成 14 年(2002)6 月 20 日

東京支部発足

通常総会において東京支部設立について審議、承認された。
東京支部は(東京都・埼玉県・千葉県・茨城県・群馬県・栃木県)1 都 5 県によって構成される。

■平成 16 年(2004)11 月

The Hotel Barmen Vol.100 を発行

会員向け機関誌として隔月発行を続けてきたザ・ホテルバーメンも 100 号を発行することができ、記念号としてHBAの歩んできたホテル・バーの変遷など特集記事を編集

■平成 21 年(2009)3 月 15 日

第一回HBAカクテルアドバイザー講習会 & 認定試験実施

HBAが初めて一般(非会員)を対象とするカクテル専門知識取得者として認定するための講習会と資格試験を全国 12 支部会場において実施